

授業概要

本授業では、教職の意義、教員の役割・能力・職務内容（＝教職観）について講義する。第2～4回では、自身の教職観・理想としての教職観を意識化することによって、自分なりの理想の教職観を形成することを目指し、第5～10回では法的な規則、教員の役割・職務を具体的に学び、自身の教職観について反省的に考察を深めていきたい。第11～15回では、教員として現代の教育諸課題へどのように対応するべきなのかを深めていく。そのため、本授業では、教員による講義だけでなく、学生によるディスカッション・グループワーク、コメントシートの記入などを通じて、主体的な考察を深めていきたい。

授業計画

第1回	ガイダンス：理想の教員とは何かを考える
第2回	教員のライフサイクル：学び続ける教員を目指して
第3回	教職者像の歴史的変遷：教師？教員？
第4回	教職観の歴史的変遷：聖職者論、労働者論、専門職論
第5回	教員の法的身分（1）：サービス・身分上の義務
第6回	教員の法的身分（2）：教員の専門性と研修
第7回	教員の法的身分（3）：学校運営と校務分掌
第8回	教員の役割と職務（1）：学習指導——授業の改善
第9回	教員の役割と職務（2）：生徒指導——体罰を考える
第10回	教員の役割と職務（3）：児童虐待と学校・教職員の役割
第11回	チームとしての学校：多様な専門家との連携
第12回	いじめ問題とどう向き合うか
第13回	不登校をどう捉えるか
第14回	教員の職務とは何か：「教育問題」から考える
第15回	まとめ：教員に求められる能力とは？
第16回	筆記試験

到達目標

- ・学校教育における教職・教員の果たす役割・意義を理解できる。
- ・教員の役割と職務について、法的根拠を含めて理解を深めることができる。
- ・教員が直面している現代的諸課題への対応についての考察を深めることができる。

履修上の注意

第1回のガイダンス授業の際に、授業方法・評価方法・予習・復習について詳細に説明する。成績評価に関わる内容であるため必ず出席すること。なお、第1回目の授業に出席できない特別な理由がある場合（あった場合）には申し出て、配布資料を必ず受け取ること。

予習・復習

予習：授業の最後に次回の授業資料を配付するので、その内容について読んでおくこと。
 復習：毎回の授業で出された課題を確認し、理解できていない場合は授業資料を復習し、さらに学びたい内容があれば授業資料に示した参考文献を読むこと。

評価方法

授業参画度（授業態度・授業中の発言等）＝10%、授業での提出物の内容＝30%、学期末のテスト＝60%。
 履修者の状況によっては、中間テストを行う場合がある。なお、教職に関する科目のため、成績評価は厳しい態度で行う。評価方法の詳細は、第1回のガイダンス授業で説明する。

テキスト

毎回、授業資料を配付する。授業内容についての参考文献は、授業資料で示すので、それを参考にしてもらいたい。

授業概要

本授業では、教職の意義、教員の役割、職務内容、求められる資質能力など教職に係る基本的な内容を体系的に捉える。教職の職業的特性を理解し、今日の教員や教員養成をとりまく諸問題を自ら考えることができるよう、その基本となる内容を講義する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション：「教師」という仕事について考える
第 2 回	教員をめぐる近年の状況と諸課題
第 3 回	教員の職業的特性
第 4 回	教員養成の歴史（1）：戦前の教員養成と教師観
第 5 回	教員養成の歴史（2）：戦後の教員養成と教師観
第 6 回	教員の職務内容（1）：教員の日常業務
第 7 回	教員の職務内容（2）：「チームとしての学校」のあり方と他職との協働・連携
第 8 回	教員のライフコース（1）：教員の身分
第 9 回	教員のライフコース（2）：職務上の義務
第 10 回	教員のライフコース（3）：教員の任用
第 11 回	教員のライフコース（4）：研修と人事評価
第 12 回	現代の教員養成・教員免許状をめぐる諸課題
第 13 回	ディスカッション（1）：ドキュメンタリー教材の鑑賞から教職について考える①
第 14 回	ディスカッション（2）：ドキュメンタリー教材の鑑賞から教職について考える②
第 15 回	授業のまとめ
第 16 回	学期末課題

到達目標

- ・教職の意義及び教員の役割・職務内容を説明することができる。
- ・教員の職務上の特性について理解し、説明することができる。

履修上の注意

- ・日頃から学校や教職をとりまく問題に関心を持ちましょう。
- ・授業では毎回課題（リアクションペーパー）の提出を課します。問題にたいする自分の意見を整理し言語化する作業に積極的に取り組みましょう。

予習・復習

予習：授業時に配布する資料を精読し、理解を深める。

復習：授業内容を振り返り知識の定着を図るとともに、授業内で示される参考文献にも目を通すこと。

評価方法

学期末レポート課題（50%）、授業内レポート・課題等（50%）

テキスト

テキストは使用しない。適宜資料を配布する。

- ・教科書名：
- ・著者名：
- ・出版社名：
- ・出版年（ISBN）：